

会山行 No.2367

丹沢：三ノ塔歩荷トレ&焚火キャンプ

- ◆日程 2022年7月2日(土)～3日(日)
 ◆メンバー L：OT、SD、ST、NO

大倉～三の塔往復の歩荷トレーニング、及び滝沢園での焚火テント泊についてご報告致します。

7月2日(土) 天候：晴れ

「ほに」とグーグルで検索すると、千鳥・大悟のおばあちゃん、と出てきた。???

「歩荷」と漢字でいれて「ぼっか」と読むのだと判った。中学の教科書に出てきた新田次郎の強力伝を思い出す。

SDさんに車を出して頂き、神奈川県立山岳スポーツセンターを目指す。皆さん「サンスポ」と仰っていたのが、この「山スポ」と気付き、目から鱗。今年4月に開通した第二東海自動車道の秦野丹沢スマートICからは直ぐだった。6時に到着。

当初は焚火テント泊の準備をしてから登る予定であったが、SDさんの提案で気候を考慮し、先ず登る事に。

皆さん、水で満たしたペットボトルを何本もザックに入れているらしい。私が化繊のシュラフだけで膨らんだザックを背負っている事は黙っておこう。「20kgあるよ」と仰るOTさんが凄く嬉しそうだ。

朝、気温が上がらない時間に出発したのは正解だった。それでも歩きだすと汗が止まらない。

舗装された林道から登山道に入る。徐々に傾斜がきつくなる。ザックが肩に喰い込む。足も重く、呼吸も荒くなる。途中、STさんがどうしても進めなくなり、他の3人で先に目的地を目指した。三ノ塔到着は10時。STさんには「上で待ってて」と言われていたが、心配で程々休んだら下山開始。20分ほど下りたところでSTさんと再会、無念がるSTさんを説得し一緒に下りた。12時に登山口に戻る。

ここから、車で移動し、湯花楽というスーパー銭湯で汗を流し昼食を取る。STさんとは食後に別れ、残りのメンバーでキャンプ用の買い出しをする。早くビールが飲みたい。

キャンプをする滝沢園はソロキャンプで有名になった場所らしい。それらしき人達も沢山いた。暑いから焚火はどうするか?という話も出たが、「その場その場であるべき焚火をすべし」と言う様な事をOTさんが仰る。酒を呑み、肉を食い、火を囲んで疲れを癒しながら、色々な話が皆さんとゆっくり出来た。とても良い夜だった。(記：NO)

CT：登山口6:10 - 三ノ塔9:55/10:10 - 登山口12:10



7月3日(日) 天候：曇り時々雨

隣の若者グループが3時頃まで騒いでいたが、個人的には良く寝た。6時起床。朝食を簡単に済ませて撤収。SDさんがザイル祭の下見を済ませてくれた。滝沢園のオーナーに挨拶するとボランティアの相談をされる。8時にキャンプ場を後にし、9時には家に着いた。近くて良いキャンプ場だったのでまた是非行ってみたい。(記：NO)

